

県立高校の施設整備と長寿命化

～ 未来の学びを支える施設整備 ～

静岡県が保有している学校施設と現状

高等学校	88 校
特別支援学校	42 校
合計	130 校

延床面積：約150万m²

静岡県が保有する施設の
約4割

※令和8年4月1日時点

多くの学校施設で、**老朽化**が進んでいる

静岡県学校施設長寿命化整備指針（平成30年3月）

静岡県教育委員会では、県立学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的に「静岡県学校施設長寿命化整備指針」を策定した。

学校施設のめざす姿

- (1) 誰もが安全・安心に利用できる学校施設
- (2) メンテナンスしやすく長持ちする学校施設
- (3) 経済的で快適な学校施設
- (4) 教育環境や社会環境の変化に柔軟に対応できる学校施設
- (5) 省エネルギーで環境にやさしいカーボンニュートラルに対応した学校施設

静岡県学校施設中長期整備計画（令和2年3月）

今後30年間にわたり、着実に老朽化対策を実施するため、平成29年度に策定した「学校施設長寿命化整備指針」をもとに、具体的・実効的な内容を盛り込み、学校施設の整備・保全に関する基本方針を定めている。

県立高校の施設整備と長寿命化

～ 未来の学びを支える施設整備 ～

静岡県学校施設中長期整備計画における建替事例の紹介

藤枝東高等学校

構造	地上5階建 S造
延床面積	5,317m ²



普通教室



特別教室



焼津中央高等学校

構造	地上4階建 S造
延床面積	4,319 m ²

明確なゾーニング

生徒の利用が少ない管理諸室を1階に集約し、2階から上階を生徒エリアとした。

教育環境にふさわしい快適な空間

浸水後も継続使用可能となるよう、1FLを最大浸水深より上とし、キュービクルも屋上に配置した。

浜松工業高等学校

構造	地上4階建 S造
延床面積	4,861 m ²

本館跡地を交流広場へ

本館跡地周りの緑地は資源活用として残し、本館跡地は交流広場として活用した。

交流スクエアを計画

将来の改修計画を見据え、動線の核となる「交流スクエア」を計画した。

